

Life with Green Technology

環境技術でひらく、豊かな暮らし

平成24年6月1日 ▶ 平成24年11月30日

第68期

中間報告書

株主の皆様へ

 三協立山株式会社

証券コード 5932

平成24年12月1日、三協立山株式会社の上場により、
現在の証券コード5932に変更されております。
引き続き、ご支援のほどお願い申し上げます。



代表取締役社長 藤木 正和

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年ของกลุ่ม再編により存续会社となった三協立山株式会社は、同年12月1日に三協・立山ホールディングス株式会社との吸収合併を経て東証一部に上場し、新たな一歩を踏み出しました。

本年も当社を取り巻く環境は依然として不透明ではありますが、環境技術を中心とした事業活動に注力することで「長期VISION-2020」の達成にむけ、持続的な成長を目指してまいります。

当社はこれからも「お客様・地域社会・社員」の共栄・協業の精神のもと、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を進めてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

グループ図 (平成24年12月1日現在)



事業概要

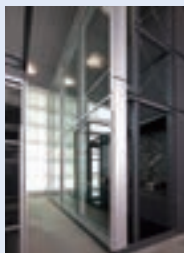
建 材 事 業

多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

ビル建材・STER



●東京駅専用ビル用サッシ
(東京駅丸の内駅舎復原工事)

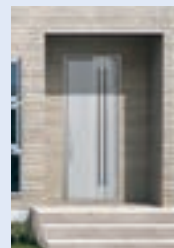


●自然換気システム
「ARM-S@NAV」
2012年度
「グッドデザイン金賞」
(経済産業大臣賞) 受賞



●NAV-Window-21

住宅建材



●玄関ドア
「ラフォース採風タイプ」
2012年度「グッドデザイン賞」
受賞



●後付樹脂内窓「ブラメイクE」 3枚建



●シートフロア「Sフロア」

エクステリア建材



●ガーデンルーム「ハッピーナ」



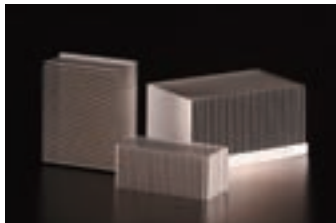
●ガーデンスクリーン「エルファード」



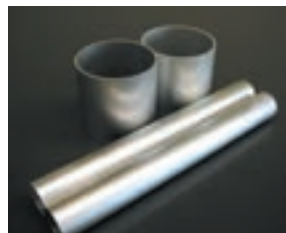
●カーポート「M.シェード」

マテリアル事業

無限の可能性を秘めたアルミニウムやマグネシウムなど、次世代のマテリアルを提供しています。



●アルミ押出形材「ヒートシンク」



●高真円度パイプ



●太陽光発電架台

商業施設事業

ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。



●アルミショーケース「ルミグラス」



●新型スタンド看板「ADO-900N シリーズ」



●LED照明付き外照式サイン「アドビュー」

営業の概況

当中間期の経営環境と営業概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期(当第2四半期連結累計期間)におけるわが国の経済は、復興需要に支えられた堅調な建設需要があったものの、新興国経済の減速影響が国内景気に波及したことに加え、電機業界を中心とした業績低迷など、依然として予断を許さない状況にありました。

建設市場においては、公共投資が復興需要を中心に堅調に推移するとともに、新設住宅着工戸数に回復が見られました。アルミニウム型材およびビレットの国内市場は、国内経済減速の影響から輸送・電機分野ともに低調な推移となりました。また、商業施設市場は、コンビニエンスストアやドラッグストアなどの国内新規出店や店舗改装需要などから底固い動きとなりました。

このような状況の中、当社は平成24年6月にグループ3事業会社を統合し、新会社「三協立山株式会社」としてス

タートしたことに続き、12月には親会社である三協・立山ホールディングス株式会社との合併・上場など、グループ総合力の発揮に向けた体制整備を行ってまいりました。また、当期は「さらなる成長と新たな価値創造」を基本方針とする中期経営計画の初年度にあたり、「長期VISION-2020」の重点施策となる「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」への取り組みを進めました。併せて復興需要や省エネ需要などの取り込み、コストダウンなど効率化対応に注力してまいりました。

以上の結果、当中間期(当第2四半期連結累計期間)における連結業績は、売上高1,357億62百万円(前年同期比0.4%増)とほぼ前年並みとなり、利益面では、営業利益62億63百万円(前年同期比18.4%増)、経常利益59億4百万円(前年同期比29.3%増)、四半期純利益51億21百万円(前年同期比61.6%増)と増益となりました。

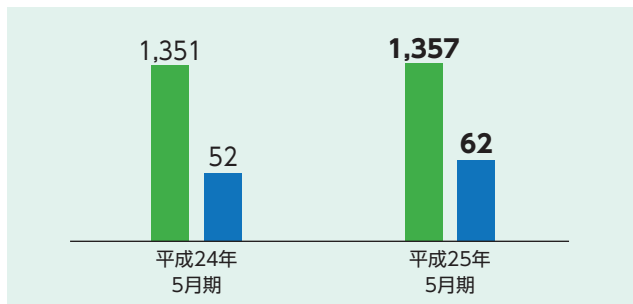
今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速影響により、国内経済は不安定な状態が続くことが予想されます。建材業界では消費増税に伴う駆け込み需要などから、新設住宅着工戸数の増加やリフォーム需要の伸びが予測されており、堅調となる見込みですが、原油やアルミ地金を含めた各種資材価格の上昇が懸念されるなど、当社を取り巻く市場環境は依然として先行き不透明な状況が続くものと思われます。

このような背景の中、当社では「長期VISION-2020」の実現に向けて策定した中期経営計画を引き続き推進いたします。

「改装・リフォーム事業の強化」では三協アルミを中心に

中間期 ■売上高 ■営業利益(億円)



リフォーム用商材の開発・市場投入に注力いたします。販売面では、集合住宅や教育、医療関連施設における環境、省エネ需要の取り込み強化と併せて、住宅向けのリフォーム販売網「一新助家」の販売体制拡充を推進いたします。また、『「ナノイー」搭載キャブコン』『内貼断熱パネル・窓システム』などパナソニック・エコソリューションズ社との共同開発商品の販売展開に加えて、2012年度「グッドデザイン金賞」を受賞した自然換気システム「ARM-S@NAV」や同じく「グッドデザイン賞」を受賞した玄関ドア「ラフォース採風タイプ」など、自然風を利用できる環境建材の拡販にも注力してまいります。

「非建材事業の強化」では再生可能エネルギーの全量買取制度が開始されたことを踏まえ、三協マテリアルを中心に太陽光発電架台の拡販に注力いたします。また、同社が保有する合金開発から押出、加工までの一貫生産体制の強みを活かした技術開発・提案活動を進めることで、環境・省エネ分野をはじめ、輸送・電機・エネルギー分野などの事業領域拡大に取り組んでまいります。併せてタテヤマアドバンスを中心に国内小売業など伸張分野への内装事業全般に関する提案活動を強化してまいります。

「海外展開」においては、先行する建材事業・商業施設事業を中心に、現地での生産・販売体制の整備、展開に注力してまいります。

以上を踏まえて、第68期(旧三協・立山HD第10期)通期連結業績につきましては、売上高2,800億円、営業利益90億円、経常利益76億円、当期純利益68億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

経営理念

お客様先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

行動指針

私たちは

お客様満足

- ①常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値創造

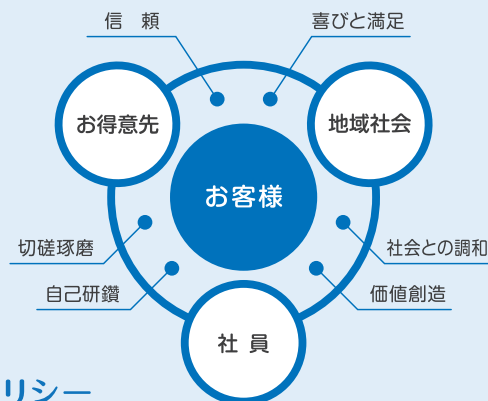
- ②技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との調和

- ③環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己研鑽

- ④自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



CSポリシー

- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場・視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善・提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

建材事業

三協アルミ

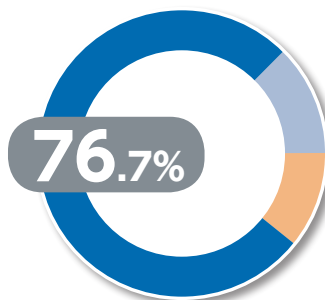
ビル建材・STER: ビル建材事業では、自然風を利用して通風・換気が可能な環境建材の拡販に注力いたしました。また、自然換気システム「ARM-S@NAV」が2012年度「グッドデザイン金賞」(経済産業大臣賞)を受賞いたしました。加えて、10月1日に復原工事を終えグランドオープンした東京駅丸の内駅舎に、当社の専用サッシが全窓に採用されております。STER事業では、学校・病院・公共施設など、幅広い分野における省エネ、環境リフォームの提案に注力いたしました。

住宅建材: 住宅建材事業では、自然風を効率的に取り込むことをコンセプトにした環境建材の拡販に注力いたしました。ドアを閉めたままでも通風・換気が可能な玄関ドア「ラフォース採風タイプ」は、防犯性や省エネの観点などが評価され、2012年度「グッドデザイン賞」を受賞いたしました。また、全国展開しているリフォームネットワーク“一新助家”では、加入店のレベルアップを通じて、各地域のお客様に満足いただけるサービス・商品の提供に努めてまいりました。

エクステリア建材: エクステリア建材事業では、近年需要が高まっている庭周りのリフォームにも対応可能な、ガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」などの新商品提案に加え、販売網の拡充に向けた流通店様へのフォローアップを強化してまいりました。また、エコカー補助金によるカーポート市場の拡大に対応するため、「M.シェード」などの差別化商品の提案強化に注力いたしました。

以上の結果、売上高1,041億15百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益39億73百万円(前年同期比65.7%増)となりました。

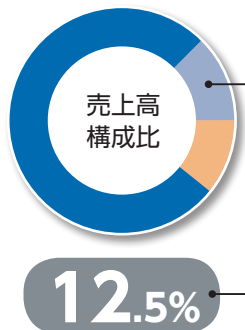
売上高構成比



東京駅専用ビル用サッシ(東京駅丸の内駅舎復原工事)

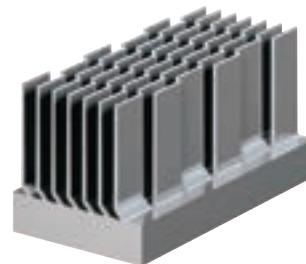
マテリアル事業

三協マテリアル



マテリアル事業では、再生可能エネルギーの全量買取制度が開始されたことを踏まえ、太陽光発電分野への展開強化として、太陽光発電架台の拡販に注力いたしました。また、合金開発から押し出し、加工までの一貫生産体制の強みを活かした技術開発・提案活動に注力することで、環境・省エネ分野に加えて、輸送・電機・エネルギー分野など幅広い事業領域拡大に取り組んでまいりました。

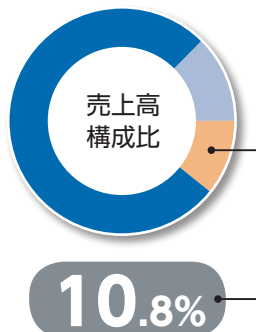
以上の結果、売上高169億38百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益13億44百万円(前年同期比1.8%増)となりました。



ヒートシンク
「オフセットSSタイプ」

商業施設事業

タテヤマアドバンス



商業施設事業では、積極的な出店を行なっているコンビニエンスストアをはじめ、幅広い業態への拡販と新規出店・店舗改装需要の取り込みに注力いたしました。また、海外生産によるコスト低減などへの取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、売上高146億35百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益4億86百万円(前年同期比59.4%減)となりました。



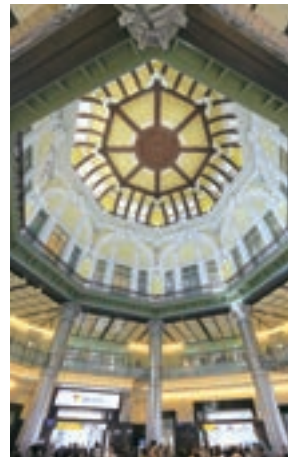
スリット式調剤什器
「MDシリーズ」

TOPICS

東京駅丸の内駅舎の全窓に当社サッシ採用

平成24年10月1日に復原工事を終えグランドオープンした東京駅丸の内駅舎の全窓に、当社「東京駅専用ビル用サッシ」が採用されました。大正3年に辰野金吾氏によって創建された当時の姿を再現するため、技術の粋を集めて専用60型を起型し

製作。さらに当時の「木の風合い」をアルミで再現するため、同氏が設計し現存する“岩手銀行”を視察。営業部門、生産部門が一体となって試行錯誤を繰り返しながら、復原作業を行いました。



伊勢神宮「せんぐう館」に当社サッシ採用

ご鎮座2000年以上の歴史を持ち、誰もが一度は訪れてみたいと思わせる心のふるさと『伊勢神宮』。20年に一度の神宮式年遷宮にあたって建築された「せんぐう館」は、平成24年4月の開館以降、多くの方が訪れています。この伊勢神宮「せんぐう館」に、当社のビル用高性能省エネサッシシステム「ARM-S」が採用されました。



2012年度「グッドデザイン金賞」受賞 自然換気システム「ARM-S@NAV」



当社のビル用自然換気システム「ARM-S@NAV」と住宅用玄関ドア「ラフォース採風タイプ」は公益財団法人日本デザイン振興会が主催する

2012年度「グッドデザイン賞」を受賞いたしました。「ARM-S@NAV」は、受賞対象の中から審査委員が注目したデザイン100件のみに贈られる「グッドデザイン・ベスト100」に選出され、さらに、その中から特別賞審査で選ばれる「グッドデザイン金賞」(経済産業大臣賞)を受賞いたしました。

パナソニック エコソリューションズ社 との共同開発

平成24年11月6日、当社はパナソニック株式会社エコソリューションズ社との共同新商品発表会を開催し、平成23年11月の共同開発契約にて合意したテーマを商品化した「内貼断熱パネル・窓システム」『ナ



ノイー』搭載キャブコン」を発表いたしました。

サイン&ディスプレイショウ2012 に出展

平成24年9月13日～15日、東京ビッグサイトで「SIGN&DISPLAY SHOW 2012」が行われ、当社からは省エネ・節電意識の高まりや環境配慮をキーワードとし、LED光源の外照式サイン「アドビューセット」とインバーター採用のスタンドサイン「ADO-900Nシリーズ」を中心に展出了しました。



震災遺児育英支援の冠試合を開催

平成24年8月25日、当社グループがオフィシャルスポンサーとして応援している富山サンダーバースのBCリーグ公式戦において、震災遺児育英支援を目的とする冠試合を開催いたしました。当社グループは、震災遺児への継続支援を行っており、同年3月、震災一年を機にあしなが育英会に寄贈した500万円に加えて、今回の冠試合でも、入場者約1000人×200円に相当する20万円を「東日本大震災・津波遺児募金」として、あしなが育英会に寄贈いたしました。



四半期連結財務諸表

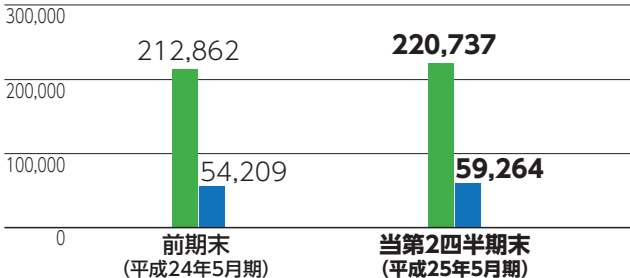
四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当第2四半期末 平成24年11月30日現在	前期末 平成24年5月31日現在
資産の部		
流動資産	115,423	107,149
現金及び預金	28,275	23,849
受取手形及び売掛金	54,362	55,385
商品及び製品	11,265	11,300
仕掛品	16,808	12,953
原材料及び貯蔵品	3,338	3,149
その他	5,411	3,879
貸倒引当金	△4,038	△3,368
固定資産	105,314	105,712
有形固定資産	91,493	92,298
無形固定資産	870	958
投資その他の資産	12,950	12,455
資産合計	220,737	212,862
負債の部		
流動負債	114,142	110,825
支払手形及び買掛金	49,409	48,920
短期借入金	25,106	25,541
その他	39,625	36,362
固定負債	47,331	47,827
長期借入金	28,725	28,870
その他	18,605	18,956
負債合計	161,473	158,652
純資産の部		
株主資本	57,172	52,663
その他の包括利益累計額	1,376	870
少数株主持分	715	676
純資産合計	59,264	54,209
負債純資産合計	220,737	212,862

■総資産 ■純資産

(百万円)



四半期連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期(累計) 平成24年6月1日～ 平成24年11月30日	前第2四半期(累計) 平成23年6月1日～ 平成23年11月30日
売上高	135,762	135,177
売上原価	99,626	101,027
売上総利益	36,135	34,150
販売費及び一般管理費	29,871	28,859
営業利益	6,263	5,290
営業外収益	1,055	883
営業外費用	1,414	1,607
経常利益	5,904	4,565
特別利益	402	64
特別損失	299	278
税金等調整前四半期純利益	6,007	4,351
法人税等	847	1,165
少数株主損益調整前四半期純利益	5,160	3,185
少数株主利益	38	16
四半期純利益	5,121	3,169

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期(累計) 平成24年6月1日～ 平成24年11月30日	前第2四半期(累計) 平成23年6月1日～ 平成23年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,359	4,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,880	△1,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,473	240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△1
現金及び現金同等物の増加額	4,988	3,890
現金及び現金同等物の期首残高	22,677	22,890
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	339	53
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	160
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,005	26,996

会社概要 (平成24年12月1日現在)

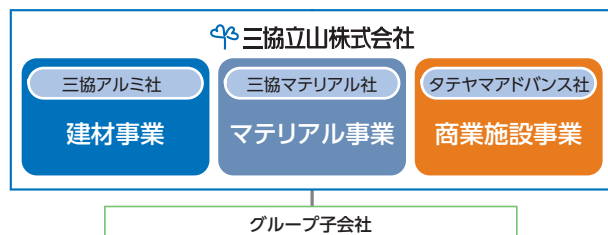
会社概要

会 社 名 三協立山株式会社
所 在 地 〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
設 立 昭和35年6月20日
資 本 金 150億円
従 業 員 数 5,897名 (平成24年11月30日現在)
U R L <http://www.st-grp.co.jp/>

取締役および監査役

代 表 取 締 役 社 長	藤 木 正 和
専 務 取 締 役	蒲 原 彰 三
常 務 取 締 役	岡 本 誠
常 務 取 締 役	庄 司 美 次
常 務 取 締 役	山 田 浩 司
取 締 役	中 野 敬 司
取 締 役	三 村 伸 昭
取 締 役	山 下 清 胤
常 勤 監 査 役	深 川 務
常 勤 監 査 役	大 原 達 夫
常 勤 監 査 役	牧 文 夫
監 査 役	角 木 完 太 郎
監 査 役	荒 木 二 郎

グループ図 (平成24年12月1日現在)



株式情報

※ご参考：平成24年11月30日現在の三協・立山ホールディングス株式会社の株式情報を記載しております。

株式の状況

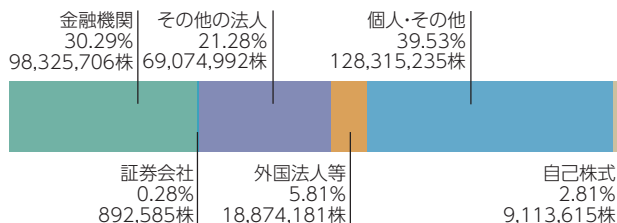
発行可能株式総数…………… 496,000,000株
発行済株式の総数…………… 324,596,314株
株主数…………… 26,258名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 千株	出資比率 %
住友化学株式会社	22,352	7.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	20,199	6.40
三協・立山社員持株会	11,933	3.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,971	3.48
三協立山持株会	10,165	3.22
三井住友信託銀行株式会社	9,717	3.08
ST持株会	9,107	2.89
株式会社北陸銀行	8,889	2.82
有限会社竹平エンタープライズ	4,620	1.46
第一生命保険株式会社	4,457	1.41

(注) 出資比率は自己株式9,113,615株を除いて算出しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
定時株主総会	8月
基準日	定時株主総会 5月31日 期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
上場証券取引所	東京
公告方法	電子公告 (http://www.st-grp.co.jp/) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
< 郵便物送付先 >	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
< 電話照会先 >	☎ 0120-782-031
< インターネット ホームページURL >	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買取請求および買増請求の取扱い

単元(100株)未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.st-grp.co.jp/>

今後のIRスケジュール

平成25年4月上旬 ▶ 平成25年5月期 第3四半期決算発表

平成25年7月中旬 ▶ 平成25年5月期 決算発表

平成25年8月下旬 ▶ 平成25年5月期 報告書発送

 三協立山株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
TEL 0766-20-2500

UD
FONT



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。